

鉄骨ブレース 無溶接耐震補強工法

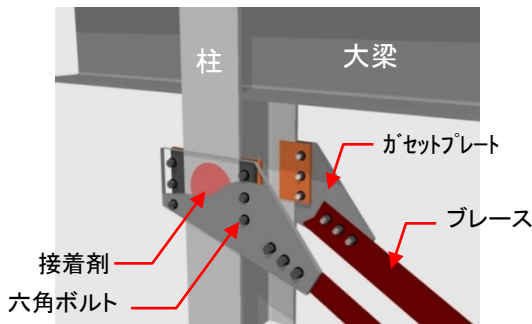
接着剤により鉄骨ブレースを取り付ける耐震補強工法

工法の概要および特徴

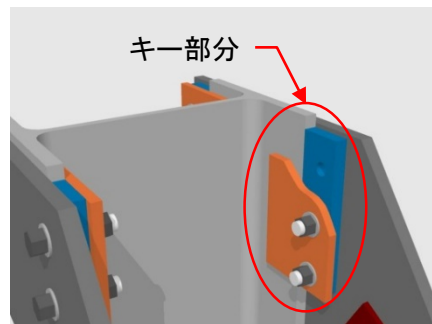
従来の鉄骨造建物における耐震補強工事では、既存架構に現場溶接によりブレースを取り付ける補強工法が多く採用されています。本工法は、現場溶接を用いず、**接着剤**により既存鉄骨造建物のH形鋼柱の弱軸方向に鉄骨ブレースを取り付ける耐震補強工法です。

本工法の特徴は、以下の内容となります。

- ◇ **火気厳禁**等により施工不可能な部位にも適用可能。◇ 大掛かりな養生（火花養生）が不要。
- ◇ 溶接での施工に比べ施工時間が短縮。◇ 接着剤を用いる事により、溶接に比べ品質が安定。

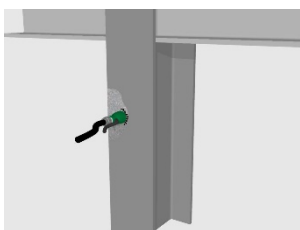


工法概要図

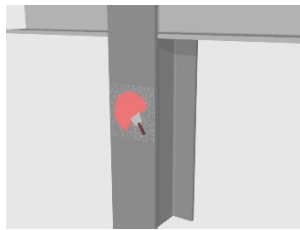


フランジからの剥離を防止するキーの詳細

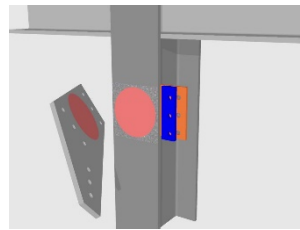
施工手順



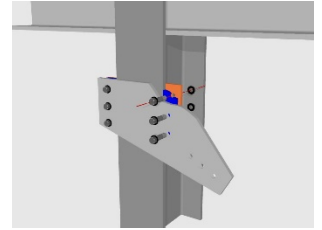
① 表面处理



② 接着剤塗布



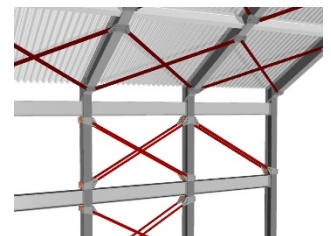
③ G.P.L貼り付け



④ キー取り付け

適用例

- ◇ **工場・倉庫** : 在来工法（溶接）では、制限が多く、耐震補強ができない施設・部位等。
- ◇ **駅舎** : 終電～始発までの短時間で補強工事を完了する必要がある施設・部位等。
- ◇ **体育館** : 古い大空間屋根等で、水平ブレースの補強が必要な施設・部位等。



屋根ブレースの適用例

本工法は、安藤ハザマ・西武建設による共同開発工法です。